

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆっぴー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間をわかりやすくし、子どもたちが安全に安心して過せる。	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕のあるスペースではないため、活動内容に応じて空間の使い方を工夫し、子どもたちに窮屈さを感じないようにしている。 ・机上プログラム、運動プログラムの場所を分けて行うことで、プログラムに参加が困難な児童も過ごしやすいようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童たちの様子を見て、話を聞きながら本人たちが過ごしやすい環境整備を随時行っていく。 ・活動内容に応じた空間作りを行っていき、楽しく活動に参加してもらえるよう取り組んでいく。
2	子ども達の特性、その日の様子を見ながらマンツーマン対応や職員同士で声をかけあい柔軟な配置を心掛けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・特性、相性に応じて活動場所と職員配置を変えていき支援を行っている。 ・事業所内で過ごす時間が長い時は、公園など外での活動も取り入れてい、気分転換と気持ちが落ち着くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特性、相性に応じた職員配置を継続していくとともに情報共有を職員間で行い、よりよい支援を心掛けていく。 ・長期休暇期間などにアルバイトやボランティアといった人材を確保して、より安全に支援が行えるよう取り組む。
3	ヒヤリハットを共有し、事象に基づいたKYTを実施し事故防止・支援に繋げている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの内容を共有するとともに、児童の立場での気持ちの理解、生じた行動原因を考えて対応策を職員で考えていく。 ・法人での会議で毎月ヒヤリハットについて確認する時間を設けて、法人全体でも把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットにおける対策を行った時にはフィードバックも行っていく、職員間の意識を高めていくよう心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館との交流といった地域の子どもと活動する機会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちと一緒に遊べる機会が増えるよう公園や公共施設への外出時を設けている。 ・利用児の多くが外的刺激に弱く、環境の変化による負担が大きくなり、児童本人の精神的負担、安全性の確保といったあらゆる面の課題が生じてくる。 ・放課後児童クラブや児童館との交流がなく、行うまでの準備に相当な時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見を聞きながら、安全面・プライバシー配慮が十分にできる状況下において行えるよう取り組んでいく。 ・児童クラブ、児童館と交流する機会が増やせるよう取り組む。
2	家族に対しての家族支援プログラムや家族が参加できる研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムや研修会を行う知識が職員に身につけていないこと、開催している間に児童を見る体制がまだ不十分である。 ・外部講師となる人材との接点が少なく、講師を招く研修会などに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベアレントレーニングなどの外部講師を招いての研修会の開催と並行して、職員も研修へ参加し理解を深めていく。 ・保護者の意見を聞きながら、研修会をみの開催で行うなどして実施できるようにしていく。
3	ご家族への非常災害対策計画書、安全計画、対応マニュアルについての周知不足	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画、非常災害対策計画書は玄関へ掲示しているが、各種マニュアル、BCP計画は掲示しておらず、必要であればお見せすることの周知ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画、非常災害対策計画書については年度初めに「れんらくアプリ」へ提示し周知を図る。各種マニュアル、BCP計画があることを「れんらくアプリ」の掲示板へ掲載する。